

やまめ

150号

五木村議会だより 2024.10.31発行

祭りだ
ワッショイ!

- 150号までのみちのり P2~4
- 9議案を可決 (9月定例会) P5~6
- 議員3名が執行部に問う (一般質問) P7~9
- 私も一言 (村人インタビュー) P12~15

150号までのみちのり

創刊号 昭和62年(1987)8月15日



議長 土肥啓資
 広報委員会 田山藤徳・吉松保・山下照公
 昭和62年の当初予算額16億9,897万円

第25号 平成5年(1993)10月29日



議長 照山哲榮
 広報委員会 吉松保・田山淳士・宮本巖
 山下照公・福岡勇
 平成5年の当初予算額32億2,700万円

第37号 平成8年(1996)10月31日



議長 照山哲榮
 広報委員会 吉松保・田山淳士
 宮本巖・山下照公
 福岡勇
 平成8年の当初予算額
 26億2,676万円
 川辺川ダム本体着工
 に同意

第82号 平成19年(2007)10月31日



議長 田山淳士
 広報委員会 早田吉臣・岩本真功
 山本豊・岡本正・中村俊也
 平成19年の当初予算額25億
 623万円

第100号 平成24年(2012)4月27日



議長 田山淳士
 広報委員会 早田吉臣・藤本新一
 樺木晴美・岡本精二
 中村俊也
 平成24年の当初予算額
 29億9,000万円

第117号 平成28年(2016)7月29日



議長 西村久徳
 広報委員会 樺木晴美
 早田吉臣
 田山淳士
 岡本正
 平成28年の当初予算
 額25億3,126万円
 熊本地震発生

第128号 平成30年(2019)4月26日



議長 岡本正
 広報委員会 川邊正美・早田吉臣・黒川麻里子
 岡本正
 平成30年の当初予算額23億3,333万円
 県立林業大学校開校

第133号 令和2年(2020)7月31日



議長 岡本正
 広報委員会 川邊正美・早田吉臣・黒川麻里子・岡本正
 令和2年の当初予算額23億3,333万円
 新型コロナウイルス発生 令和2年7月豪雨発生

第150号 令和6年(2024)10月31日



議長 岡本精二
 広報委員会 田山淳士・中村俊也・園田良治・川邊正美
 令和6年の当初予算額45億4,419万円

150号記念に寄せて

議長 岡本 精二



村民の皆様にはいつも議会だより「やまめ」を愛読いただき、ありがとうございます。

今回で発刊150号を迎えることができました。これは村民の皆様のご指導の賜物と思い、感謝申し上げます。

一年に4回定例議会ごとに発行しておりますが、五木村議会広報委員会4名の皆様方のご苦勞に感謝しております。

過去を見ると熊本県町村議会広報コンクールにおいて努力賞3回、佳作1回、特別賞1回の受賞を受けております。

なお、今後の議会広報作成には、記事の分かりやすさと具体性を充実し、住民の皆様がご理解しやすいように心がけます。また、事業の成果や取り組み等、皆様の声を取り入れて村政への参加意識を高めて、住民とのコミュニケーションをより密にした内容にしていきたいと思っております。

さらなる村民の皆様のご指導をお願い申し上げますとともに、村民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、挨拶いたします。

村長 木下 丈二



「やまめ」の150号発刊を記念し、第1号を昭和62年（1987）8月15日に発刊され、これまで長きにわたり五木村の行動をお伝えし、広報活動に関係されました議員各位に感謝とお礼を申し上げます。

五木村は「流水型ダムを前提とした村づくり」をスタートさせ、これまで村の振興計画を様々な観点から国・県と検討を重ねてきました。そういった村の行政全般や議会の内容、経緯、活動状況など、広く住民の皆様へお知らせし、議会、執行部、住民が正確な情報を共有することが、最も重要なことであります。

今後におきましても、住民が議会活動を把握し、それを通じて行政全般の動向を知りえる媒体として、議会広報委員の議員各位にご苦勞をおかけ致しますが、引き続きより充実した広報紙として発刊されますようお願いし、感謝を申し上げます。

国士館大学名誉教授

博士（政治学）

東日本五木ふるさと会

会長 池田 十吾



この度、五木村議会広報紙「やまめ」が、150号として発行されますこと衷心よりお慶び申し上げます。この記念すべき機会に、寄稿させていただきまことは大変名誉なことであり衷心より感謝申し上げます。

村議会は、明治29年4月、伊藤博文内閣の下に開設されて128年の長い歴史と伝統を誇っています。村民の負託を受けた8名

の議員の皆様は、それぞれの地域の課題をきめ細やかに捕捉する役割が求められます。そして、議会における活発な議論は、村の発展に必要な不可欠であります。議会広報紙「やまめ」を読むと、五木村の真実の歴史を紐解くことができますと同時に、ダム問題に翻弄された苦渋の歴史をもちることが出来ます。この意味において、「やまめ」は議会活動を広報すると同時に、村が直面する諸課題を村民に限らず知らしめているのです。これこそ、まさに行政の監視と共に議会制民主主義の根幹を担う重要な役割を担っています。

本年5月開催の「東日本五木ふるさと会（東京会場）」にゲストとしてご出席賜りました岡本議長様によると、少数精鋭の議員の皆様が「新たな五木村作りの振興計画を着実に進めている」との力強いご報告がありました。今後は、「五木村発展に向ける百年構想」を立ち上げていただきたく思います。

ふるさとを愛する会員一同は、五木の未来が明るく活性化する具体的な施策により一層の発展を遂げることを応援しています。

昔の議会だよりを振り返る

— 元事務局長の思い出 —

元議会事務局長 和田 拓也



五木村議会事務局長を拝命したのは平成6年4月で、時の議長は照山哲榮氏であり平成9年8月から議長に宮广守氏が就任し、4年間で2人の議長に仕えた。

私が事務局を務めた時期は、川辺川ダム建設について本体着工は認めてないものの、関連事業が進むなか、議会としてはダム本体工事を容認すべきかどうか、またその条件と時期は等々が議論された。

それに伴い基盤整備と振興策について様々な意見が噴出し、一方ではダム建設の議会対応めぐり、多くのマスコミの取材攻勢にさらされ、時にはダム対策特別委員会が紛糾する場面や、執行部との意見が異なることもたびたび生じ、また下流域からはダム本体着工の承認を求める圧力が日に日に高まってきていた。

議長は国・県・村・学識経験

者で組織した「子守町の里再生整備計画検討委員会」やダム関連の委員会等々の委員として参加を求められ多忙を極めた。

一方議員も地域住民として「ルネッサンス計画—子守歌の里づくり計画—」の立案に向けて地域座談会への参加、議会での議論と多くの活動を務めた時期であった。

様々な議論を経て議会は、平成6年4月「頭地代替地土地利用計画や頭地大橋の位置」について承認し、平成8年は「ダム本体着工の同意」や振興計画、水没地周辺の土地利用計画等を決議している。

当時を振り返ると、ダム対策特別委員会の正副委員長の選任をめぐる議員同士の意見対立や、ダムに反対する団体との対応で紛糾するなど、ダム建設是非の最終局面として議員各自が持つ矜持が端的に表れた時でもあった。

事務担当者としては議会運営の進行や会議規則や上位法の適用に誤りがないよう努めたものの、当時は様々な事案が発生し、議長・委員長への的確な助言に困る場面もあった。しかし平成元年に自治大学（地方自治体職員研修機関）で研修させていた

国町村議長会事務局職員や各町村で議会事務の経験者がおり、多くのアドバイザーを得ることができたことは幸いであった。

元議会事務局長 兼田 昭治



五木村議会だよりが150号の節目を迎えたとのこと、30余年にわたり編集に携わって来られた歴代委員の方々のご労苦に敬意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

いつの時代も議員の関心が高いのは一般質問の取り扱いです。質問者はできるだけ詳しく書かれることを望みますが、当時は議員数も10人と多く、ダム問題に関心が集まり質問者も多かったのです。そのため最初の頃は質疑応答をなぞった会議録のよ

うな構成で、村民の皆様に「気軽に読んでください。」とは言えないような紙面でした。そうした時に出会ったのが「や

さしい議会だより」という一冊の書籍です。著者は長年、議会広報の現場を見聞きして「議員だよりではなく、議会だよりのだから編集は委員の独断と偏見でやっていいんです。」と喝破されました。目から鱗が落ちる思いがしました。



9

月

定例会

こんなことが
決まりました

一般会計補正予算に

1億9,983万1千円を追加し、

総額48億6万9千円とする

補正予算を可決

令和6年第3回定例会が9月10日から11日まで開催。

報告2件、専決処分の承認1件、人事案件1件、条例等の一部改正2件、補正予算3件、工事請負契約締結2件、決算認定審査10件の合計21件が上程された。

令和5年度決算認定については、決算審査特別委員会を設置。委員長に早田議員、副委員長に川邊議員を選出して審議することを決定した。

報告は令和5年度財政健全判断比率、令和5年度公営企業資金不足比率については監査委員の意見を付して報告。

承認は専決処分で林道災害復旧工事の補正 3,060万円

諮問は人権擁護委員候補者の推薦。

国民健康保険条例の一部改正および熊本県後期高齢者医療連合規約の一部改正は、現行の保険証の廃止に伴いマイナ保険証移行に対応するため。

【一般会計補正の主なもの】

総務費

小さな村g7サミット業務委託料 130万円

商工費

商工振興補助金 400万円

物産館 物産館仮店舗設置業務委託料 400万円

温泉施設改修設計業務委託料 1050万円

災害復旧費

林道災害復旧費 6900万円

村道災害復旧費 6300万円

工事請負契約締結の案件は五木村役場庁舎空調設備改修工事 6953万円

IP告知放送システム機器更新工事 1億6940万円

全議案とも全会一致で賛成可決した。

— 第3回定例会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
承認 第3号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度五木村一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	欠席	原案承認 全員賛成
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	欠席	適任で 答申
議案 第56号	五木村国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	欠席	原案可決 全員賛成
議案 第57号	熊本県後期高齢者医療連合規約の一部改正について	○	○	○	○	○	○	欠席	原案可決 全員賛成
議案 第58号	令和6年度五木村一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	欠席	原案可決 全員賛成
議案 第59号	令和6年度五木村ダム対策事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	欠席	原案可決 全員賛成
議案 第60号	令和6年度五木村介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	欠席	原案可決 全員賛成
議案 第61号	工事請負契約の締結について(五木村役場庁舎空調設備改修工事)	○	○	○	○	○	○	欠席	原案可決 全員賛成
議案 第62号	工事請負契約の締結について(IP告知放送システム機器更新工事)	○	○	○	○	○	○	欠席	原案可決 全員賛成

令和6年第5回五木村議会臨時会

「衆議院議員選挙費用455万9千円」

令和6年10月9日、令和6年第5回五木村議会臨時会を開会。

会期を10月9日の1日限りとし、第50回衆議院議員総選挙にかかる補正予算455万9千円を追加し、総額48億462万8千円にする1議案が上程され議会にて審議した。この議案について全会一致で可決した。

— 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議 案 名		園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
議案 第63号	令和6年度五木村一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

村政を問う

一般質問

『新たな五木村振興計画』をどう進めていくのか

木下村長 村民の雇用反映し確実に進めていく



中村 俊也 議員

質問 誰もが安心して暮らせる村づくりの実現に向けた子育て支援、教育環境の充実、保護者の経済的負担軽減等について伺いたい。

村長 4月から「子守唄の里五木村」子ども子育て応援宣言の運用が始まり、各ライフステージにおいて切れ目ない総合的な支援を目指し取り組んでいる。また小中連携教育の義務教育学校を目指し、準備をスタートしている。

質問 県内の消滅予想自治体の対象から五木村が外れたことをどのように評価するか。
村長 様々な村政の取り組みだけでなく、村内の各企業の皆様のご努力により若者、特

に女性の方が増え、人口減少の傾斜が若干緩やかになったことで評価されたと捉えている。

質問 生活拠点の集約化や村民の要望に多かつた介護施設等の充実について、現状は。

高田保健福祉課長 村の現状と将来を見据え、土地の選定、介護施設の形態、担い手、整備後の介護保険料に与える影響等、総合的に検討していく。

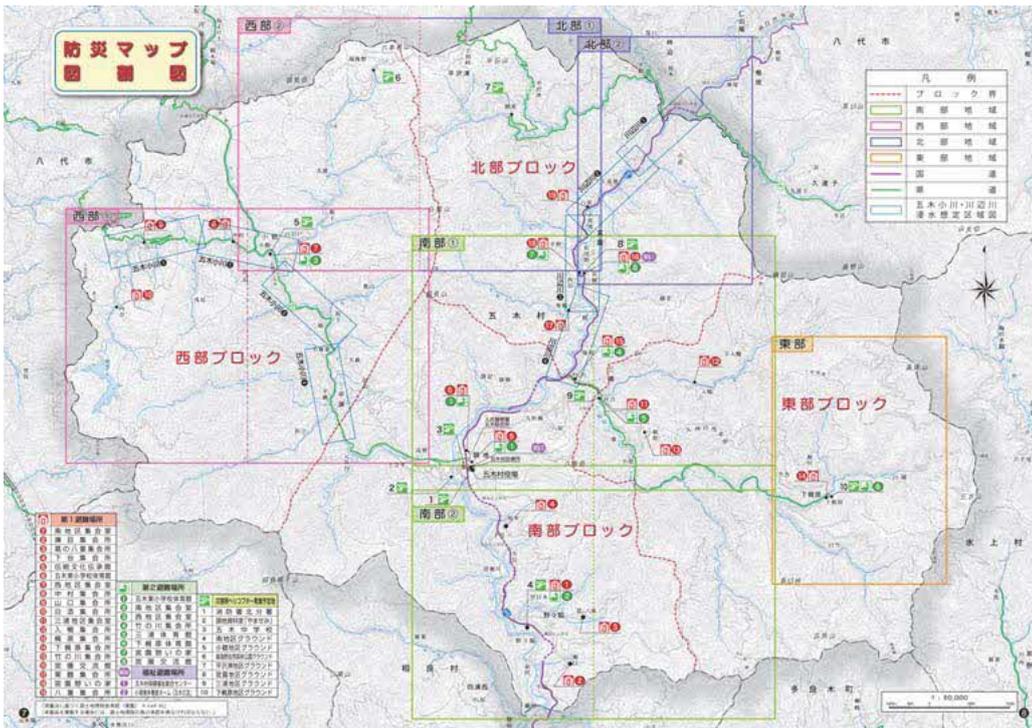
村長 自宅と社協などの二拠点を提案しながら、住民のニーズや思いに沿った形を検討していきたい。集落再編についても住民の意見を聞きながら慎重に進めている。

質問 持続可能な交通手段の構築について、路線バス廃止後の交通手段の確保や村民ニーズの把握等について伺いたい。

村長 交通体系について検討が続いており、令和6年度中には方向性を示したい。

質問 防災力強化、防災体系の見直しと新たな時代を見据えた安心安全の確保に関して、具体的な計画や進捗状況今後の見通しを伺いたい。

村長 防災対策の基本方針に基づき、土砂災害に特化した五木型のタイムラインの構築、防災訓練、防災講話、避難情報の周知方法の改善等に取り組んでいる。公共施設の活用による避難所の整備についても検討している。



防災マップ (五木村HPからダウンロード可能)

10月から始まるコロナワクチン接種 はレプリコンワクチンを使うのか

高田保健福祉課長 このワクチンは今回は使用
しない予定である



田山 淳士 議員

質問 最近ではコロナワクチン

の薬害が全国的に相当報道さ
れている。今回も10月から新
たにコロナワクチンの接種が

始まるようだが、アメリカで
開発され、ベトナムで治験（臨
床実験）が行われたレプリコ
ンワクチンは、この両国とも

承認していない。世界中どの
国も承認していない。それを
日本国は輸入して承認し国民

に接種しようとしているが、
村長の見解は。

村長 詳しくは担当課長から
説明をさせたい。

高田保健福祉課長 レプリコ
ンワクチンについては市町村
には現在のところ説明はされ
ていない状況である。近い段
階で承認されると聞いてはい

るが、今回は使用しない予定
である。

質問 このワクチンはベトナ
ムの治験では18人の死亡事故
がある。また接種した人の呼
吸や汗などから他人に感染す
る可能性があることからレプ
リコンワクチンを接種した人
は、入店禁止などの店や病院
が続出することが予想される
今後はどうするのか。

保健福祉課長 今年度は接
種の状況を確認したい。今回
はファイザー製、モデルナ製、
第一三共製、武田薬品製の中
から接種を受けられる方に選
択いただいで接種したい。

質問 大通りトンネルができ
ると宮原まで30分くらいで行
けるようになるが、村長とし
て国県に要望したことはある
のか。

村長 検証の結果を早く村に
知らせたいと県にお願いま
している。文書としても国県
には伝えてある。県から伺っ
ている話では地形勾配等を考

慮しながら何ルートか検
討していると聞いている。

質問 代替地の平場造
成はどこをどれだけいつ
までにやるのか。

村長 場所の確定を早
くやってもらうようにと
思っている。整備時期に
ついてはダム事業が完成
するまで実施したいと説
明を受けている。

質問 溝の口辺りを盛
土して造成する予定があ
るようだが、中心地であ
る頭地地区の左岸側を開
かないと高齢化で対岸ま
で行くのが厳しくなって
くるので、早く開いて過
疎地区に住んでおられる
方で、希望者は頭地に住
めるようにしたらどう
か。

村長 平場の造成地は
議会と相談しながらス
ピード感を持って住民に
早く示していきたい。



移転先が検討されるヴィラ



盛土予定地

五木村のマイタイムラインは

木下村長 取組を進めている



早田 吉臣 議員

質問 五木村の防災対策の基
本方針は。

竹村総務課長 毎年6月下
旬に五木村の防災会議を開催
し五木村防災計画書がある。
基本方針は記載していないが、
災害対応のマニュアル、避難
計画をどうするという記事を
記載してある。

質問 避難への周知の方法で
高齢者や独り住まいの方への
周知はどうするのか。

総務課長 基本、防災無線
で行う。また携帯電話を使っ
たエリアメール、今後各家庭
にタブレットを導入するので
その方法もやっていきたい。

会を設置して毎年会議を行っ
ている。

質問 道路交通法では横断歩
道のところに歩行者がいた場
合、車は止まり歩行者を優先
するとある。現状は通過して
いるのがみられるが、どう思
うか。

村長 川辺川工事事務所など
が音頭を取ってもらい協議会
をつくり工事関係車両につい
ては交通指導を行っている。
一般の観光客への啓発は一
度、交通安全協議会とも意見
交換をしたい。

質問 最近小さな事故が発生
している。紅葉時期にもなる
ので交通安全の注意喚起を県
ともすべきでは。

村長 県との協議は、五木の
新たな振興計画の中でも国道
の白線の引き直し、道路の維
持管理も土木で対応しても
らっている。交通標識、横断歩
道については人吉警察署とも
協議をお願いしたい。

質問 以前、村では「昼間ライ
ト点灯運動」を行っていた。再
度、周知を行い事故防止対策
として、エンジンをはけると
点灯するデイライトの補助を
する考えはないか。

総務課長 住民の要望があ
れば、今後検討したい。

質問 昼間点灯運動の看板や
地区名看板の改修はどうなっ
ているのか。また、地区名のフ
リガナのローマ字表記は出来
ないか。

村長 村内の状況を確認して
ローマ字表記も検討したい。
また、五木村のホームページ
にも表記の検討をしていきた
い。

質問 昨年五木村独自の「マ
イタイムライン」を作成した
いとあったが、どうなってい
るのか。

村長 五木独自の土石流に対
応した村の「マイタイムライ
ン」を作ったらしいこと、
今取り組みを進めていること
ろだ。

質問 今回テレビ地上波が
一時中断した。しかし10チャ
ンネル(いつきちゃんネル)は
映っていたのでその情報伝達
は出来なかったのか。

総務課長 大通峠の受信機
への電線が切れて地上波の受
信が一時中断した。少し遅れ
たが道路情報、地上波の電波
が中断している情報は流し
た。

交通安全対策につ いて

質問 五木村の交通安全対策
の基本方針は。

総務課長 五木村独自、単
体での基本方針は定めてはい
ない。五木村の交通安全協議

会を設置して毎年会議を行っ
ている。



中学生議会 質疑応答

第3回を迎える中学生議会が令和6年9月24日火曜日に行われ、五木中学校の3年生8名が五木村をよりよくするため、村の執行部に質問を行いました。その中で心に残った質問と答弁を書いています。

新坂祐斗さん



五木源パークは五木村でも観光客が多く訪れる場所です。そ

んな場所がダム建設によってなくなってしまうが、五木源パークを移転する際に同じ規模の平地は確保していただけるのか、具体的な案を教えてください。

木下村長 今のところ20ha程度の平地は確保できている。具体的なことはこれから考えていかないといけない。



様々な使い方をされる五木源パーク

中村雄人さん



今、義務教育学校の開校の予定が令和8年

度になっています。ですが、小学校の移転や校舎の改修工事は、この準備期間の短さでは個人的に心配です。今の進捗状況を教えてください。

西教育長 10月10日に水上学園や球磨清流学園に視察に行く。令和8年度に分離型としてスタート、令和9年度から本格的に開校できるように取り組んでいます。



蓑田悠太さん



令和8年度から義務教育学校に移行することにより、五木東小の跡地の利用について、

具体的な計画はあるのでしょうか。五木東小校舎は、木材をふんだんに使用しているのので、そこを生かして旅館やフードコート、ショッピングモールなどを建設することも良いと思います。

木下村長 現在検討中。地域未来留学や山村留学での利用や様々な研修など、交流の場として活用する予定。



新たな活用も考えなければならない東小学校

柳川範斗さん



五木村は、進学後に村を出ていく方が多く、

少子高齢化が課題となっています。そこで企業誘致をして、働く場を増やすのはどうでしょうか。県内でも様々な自治体で誘致に成功しています。それにより人口増加にもつながると思います。

木下村長 現在も働き口はたくさんあるので、自分に合った仕事を見つけてもらいたい。





黒木瞳子さん



五木に作る平場の活用で観光農園を作ってみてはどうでしょうか。

観光農園には五木の椿、銀杏、ひまわり、紅葉、福寿草など四季折々の植物を展示して一年中人が集まるようしたいです。

木下村長 新たな振興計画の一部として、前向きに検討していく。協議会に提案したい。



きれいな川を残したい

杉本麻美さん



五木村は、現在 SNS を活用して村の PR 活動をしています

が、視聴者のコメントに対する返信をしてみてもどうでしょうか。返信をするだけでも視聴者が増え、関心を持つ人が増えると思います。

竹村総務課長 現在、SNS で多岐に渡って情報を積極的に発信している。今後は総務課だけでなく役場全体でやる。

豊永愛湊さん



私は焼畑を一般の方に更にく呼び掛けてほしいです。焼畑

の準備にはお金がかかると思いますが、情報発信の強化や規模拡大のための機械の購入などの支援をお願いできないでしょうか。

山尾教育課長 火を使う問題や駐車スペースの問題があり、百人程度が限界なので、規模拡大は難しい。ヒストリアテラス五木谷の焼畑の展示などを利用して焼畑を知ってもらおう機会としたい。



2022年の焼畑の様子

永井愛結さん



村民の方が村外でよくゴルフをしている

姿を見ます。そこで、他村と区別化するために新たに五木村にしかないゴルフの練習場を作ること提案します。

木下村長 村内のゴルフ人口は増えており、健康維持やプライベートでよくゴルフをする方が多いので練習場の建設を前向きに検討する。規模、場所は未定。



ゴルフ練習場もできるのでは



岩本安弘さん
(栗鶴地区) 54歳

現在は、五木村の少子高齢化の寂しい課題だと思います。

私は今年の8月1日から五木村役場教育委員会でスクールバスの運転手として働かせてもらっています。

その仕事の中で私の願いは一人でも多くの子供たちが残って働ける職場、村外から若者たちが帰って来られる色々な職場があったらとても幸せだろうなと想像します。

そのためには村外で働く若者たちの給与に少しでも近づくことが大事だと思います。自分にも4人の子供がいますが、私は一人でも多くの家族と生活ができれば幸せだと思います。

また一人でも多くの移住者が働けるいろいろな職場が増えたらいいのではないかと思います。



下内泰臣さん
(山口地区) 65歳

①これから五木村はどうなっていくのですか？

依頼を受けて相当悩みました。五木村がこうなってしまうと一言では語れない課題です。私、この度、五木村森林組合代表理事組合長に選任いただき、重責に身の引き締まる思いであります。林業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、組合員の皆様の負託に応えることができるよう組合運営にあたる所存であります。全国的に少子高齢化で人口が減少しており、全ての経済活動に支障が出ています。森林組合においても同様で、森林整備員は現在18名です。

村内外から8社約50名の協力事業体の協力により必要な事業量を確保して実施しています。組合の置かれている状況を考えますと、五木村の森林の守り人である森林組合の森林整備員を増やし、健全な山をつくり

安心して住める村になってほしいと思います。

②五木村議会に望むこと

議員の皆様には、村民の代表として、村政に村民の要望を反映させるために議論をいただいていますことに敬意を表したいと思います。

議員の高齢化している現状を見ますと、まさに五木村の人口が減少し、若者が少なく議会に若者が立候補しなくても仕事優先になってしまう現状だろうと思います。村内の若者たちと意見交換など行い、議員報酬額のアップや会社等に勤務しながら議員活動ができるような方策を見出しただきたいと思えます。来年の議会議員選挙に若者が登場することを願っています。

〇五木村に望むこと

五木村の将来については現状からすると厳しい面もあると思います。少子高齢化と人口が減少する中、昔に比べると活気が薄れています。私ができるだけ村内の人たちに声掛けをする機会を持つことを心がけていますが、村内を移動する中で気になるのは最近の自然災害での路面の悪化、危険な落石など危惧しています。自然が豊富で広大な五木村は村外人たちから見たら魅力ある財産だと思います。観光客誘致をするためには環境整備を急ぐ必要があると思います。高齢者が半数を超える村で皆が明るく元気で暮らせるためにはもっと若い世代との交流の場を設けてもらいたいと思います。昔の活気を取り戻したい、夢のある活気を。



林業は五木村の主要産業



石田義幸さん
(下梶原地区) 76歳

○議会に望むこと

村議会の皆さんに望むことは日常、大変お忙しいことと思いますが、五木村は広大な面積の中に家が点在し全地区訪問するのは困難とされます。

できましたらば常会など毎月ありますので議員の方にはご足労いただき意見を聞いていただいて政策に反映していただければと思います。

また、議会にも関係すると思いますが、村の行事なども縮小・廃止となり、村民が集う場がなくなりつつあります。人口も減少し寂しい限りです。できましたら村民、皆が参加できるレクリエーション等の計画ができたならと思います。



災害から復旧が遅れている道



通行に支障のある落石が多い(下梶原)



園田 望さん
(頭地地区) 28歳

○五木村に望むこと。

今後、もっと五木村に住む人や訪れる人が増え、活気のある村になってほしいと思っています。

現在の五木村の人口は800人程度と昔と比べても少なくなっていると思います。せっかく豊かな山間に囲まれ川辺川という日本一水質の良

い清流が流れる人吉球磨でも限られた地域なので、より多くの方にその魅力を知ってもらい五木を訪れるきっかけを作っていけたらなと思います。

最近では熊本県は新しく台湾のTSMC半導体製造工場が作られた影響からか、熊本市内などを訪れると電車内や商業施設などで非常に多くの外国人観光客をお見かけします。

しかしながら五木村をはじめ県南地域にはその影響はまだ少ないと思うので、自然を生かしたレジャー施設やクネブやしいたけなどの農林産物などの食事やお土産物を、今以上に充実させ都会では経験できない五木村ならではの良さを村民としても発信していけたらと思います。

○議会に望むこと

まずは五木村を訪れる方々を増やす取り組みに力をいただき、その上で五木村が住みやすくなるような取り組みにも力を入れていただきたいと考えます。特に五木村で暮らす上では労働環境の確保改善が最重要項目だと思っています。

私は現在五木村で林業に携わる仕事に勤めています。五木村の主要産業の一つである林業ですが近年では担い手不足と高齢化が深刻な問題があり、新規に林業に就職しようと

いう若い方はめったにおられませんが、

林業はあらゆる職業の中でも労働災害や死亡事故が特に多い危険な仕事であるにも関わらず、木材の市場価格や労働者の賃金水準も低いのが現状です。

しかしながらこのままの環境が10年20年と続いていけば、今以上に労働者不足を引き起こし五木村の土地の9割をも占める山林の環境保全、ひいては私たちの居住環境にも悪影響を及ぼしかねないと思われます。

議会の方々に村に対して、あらゆる観点から林業のイメージアップと労働環境改善につながるような革新的な提案をしてほしいです。



菊陽町に進出したTSMC (google mapより)



嶽本龍之介さん
(下谷地区) 25歳

○これからの五木にどうなってほしいか

五木村の発展を望みます。現在の五木村は少子高齢化が進み人口の減少が課題となっています。またそれに加えダム建設もあり、不安も大きいと考えます。

なので、これから五木村には発展して行って欲しいと考えています。様々な策が考えられ今実行されていると思いますが、人口の増加や五木村の安定につながるために、さらに良いサービスや支援の制度を充実させて欲しいです。五木村には様々な魅力がありますので魅力を生かし、五木村をさらに発展させ観光客を呼び寄せ、地域住民もよりよく暮らせる未来を実現してほしいと考えます。

○議会に望むこと

五木村の発展のために、新たな観光スポットや商業施設の検討を進め

てほしいです。理由としてダム建設は観光客を呼ぶ機会にもなると考えます。一級河川である川辺川は、日本三大急流である球磨川の上流となり、ダムに興味を持って五木村へ観光に来る方も今後増加すると思われる。

そこでダム以外の場所でも五木村の魅力を伝えられれば、さらなる観光客の増加を実現することができると思います。

また五木村に住む住民は五木村での買い物が難しく、人吉や八代などの遠く離れた場所へ買い物が必要となっています。新たに商業施設を作ることは地域住民の五木村への還元にもつながると考えます。このようなことから、新たな観光スポットや商業施設ができればよいと思います。



リニューアルする道の駅



平山光信さん
(頭地地区) 61歳

会に対し、ダム問題や人口減少をマインナスに捉えず、縮小しながらも発展できる仕組みと希望を持てる政策が必要と感じます。五木村らしい高齢者社会を進むために、若い世代が提案しやすい環境と、年配の方が生き生きと暮らせる政策の推進をお願いしたいです。

令和3年4月に菊池市から移住し、地域おこし協力隊として4年目になります。同年9月には「五木村ドローンスクール」開設校し、翌年には「パルセーション合同会社」を

設立し、五木村の発展を目指して活動しています。主に五木村の観光活性化のため、ドローンを活用した操縦体験や空撮イベントを開催し、村民との交流も「移動式お茶屋さん」や「竹とんぼ会」を通して楽しんでいきます。村内に設立した会社は平日5時以降や休日に活動し、ドローンスクール運営と国家資格が取得できるスクールを目指しています。

2年前に孫ができて毎日でも会いたい気持ちもありますが、趣味や好きなことを仕事にしているので、大自然の中で集中して仕事ができることはとても満足でき、困った時には手助けしてくれる先輩や仲間もでき、本当に感謝しています。村や議



紅葉が魅力の五木





松永 望愛さん
(八原地区) 18歳

①これから五木村はどうなって欲しいですか？

もっと、便利になって欲しいと思っています。五木村の人口が増えないのは、不便さにあると思います。解決のために、商業施設を作って欲しいです。五木村は買い物ができる店がとも少ないように感じます。観光客のために様々な観光スポットが考えられ、観光客が増えていると思います。五木村に住む住民のことも考え、気軽になんでも揃うような商業施設を作ってほしいと私は考えます。

また、五木村の店は、夕方には閉まってしまったため、夜も空いているような店がほしいです。緊急時や子供の買い忘れなどがある際、人吉や八代方面へ出かけて買い物をする家庭が多いと思います。このようなことから五木村に商業施設を作ること、住民にとって便利になると思い



ます。観光客だけでなく、五木村に住む住民のためにも、村をより良くしてほしいです。

②五木村議会に望むこと

若者が、より五木村の議会に興味を持てるようにしてほしいです。現段階で議会に出る方に、若者が少ないと思います。長期的に見てこれから高齢の方は議会への出席が難しくなってくる可能性もあると思います。これからも、五木村が続くために、若者も議会に参加し、五木村を支えていくべきだと思います。その

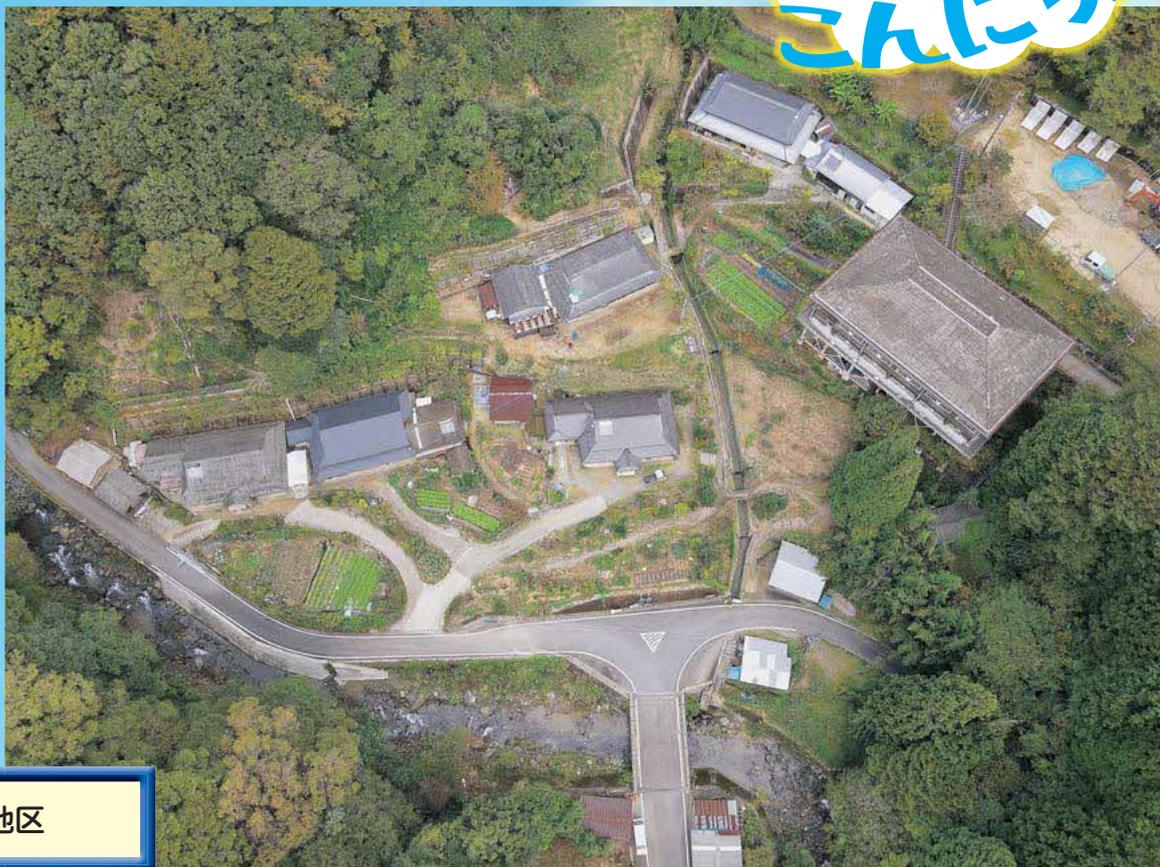
ために若者が議会に興味をもてるよう工夫をして欲しいです。私自身、五木村の議会に対しての関心が薄いです。まず、若者が議会について知る機会を作って欲しいです。以前から五木村の中学生が議会に参加する機会が作られていると思いますが、今後もそれを継続させ、また議会について説明する場を小学校や中学校、高校で設ける等することで、議会への興味は湧くと思います。また、大人も議会に興味を持てる場を設けることも必要だと思います。このような方法だけでなく、様々な工夫をしながら、若者が議会へ興味を持つようにして欲しいです。



五木の自然を活用したさまざまなアクティビティ

写真提供：地域おこし協力隊 平山 光信 さん

空から
連載第3回
こんにちは!



椎葉地区



平沢津地区



子別峠地区

3地区合計
世帯数15
男性13名
女性14名



端海野地区

世帯数2
男性3名
女性2名

議会の動き(7月~9月)

- 7月**
- 1日 定例全員協議会(全議員)
川辺川ダム対策調査特別委員会(全委員)
広報委員会(第2回)(各委員)
 - 5日 県庁織月会(岡本議長)
 - 10日 一般国道445号道路整備促進期成会総会(岡本議長)
一般国道熊本宮崎線道路整備促進期成会総会(岡本議長)
球磨川上中流域改修期成会総会(岡本議長)
川辺川ダム建設促進協議会総会(岡本議長)
 - 11日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全委員)
定例郡議長会議(岡本議長)
 - 16日 ひかり輝く新たな五木村振興計画確認式(各議員)
 - 17日 県監査委員協議会臨時総会・研修会(田山監査委員)
 - 18日 広報委員会(第3回)(各委員)
 - 22日 令和5年度決算審査開始日(田山監査委員)~23日
 - 23日 県常任委員長・議運委員長研修会 藤本総務常任委員長・川邊経済常任委員長・中村議会運営委員長
県道五木湯前線幸野染田線改良貫通促進期成会総会 岡本議長・川邊経済常任委員長
 - 24日 広報委員会(全委員)
 - 29日 例月監査(田山監査委員)
 - 30日 決算審査(田山監査委員)

- 8月**
- 1日 決算審査(田山監査委員)
 - 2日 県道小鶴原女木線改良貫通促進期成会総会(岡本議長)
 - 5日 決算審査(田山監査委員)
 - 6日 議員村内視察(各議員)
定例全員協議会(全議員)

- 人吉下球磨消防組合議会全員協議会(川邊議員)
- 7日 決算審査(田山監査委員)
- 9日 定例郡議長会議(岡本議長)
- 19日 人吉下球磨消防組合議会全員協議会・臨時会(川邊議員)
決算審査(田山監査委員)~20日
- 21日 広域行政組合第3回定例会(田山・西村議員)
- 22日 臨時全員協議会(全議員)
広報委員会(全委員)
- 23日 例月監査(田山監査委員)
決算審査(田山監査委員)
- 27日 県正副議長研修会(岡本議長・中村副議長)
- 30日 第2回人吉球磨広域行政組合決算特別委員会(田山議員)

- 9月**
- 3日 議会運営委員会(各委員)
定例全員協議会(全議員)
広報委員会第1回(各委員)
 - 10日 議会運営委員会(各委員)
 - 10~11日 第3回議会定例会(各議員)
 - 12日 決算認定審査特別委員会(各議員)
広報委員会(全委員)
 - 15日 敬老式典(各議員)
 - 18日 子守唄の里グラウンド・ゴルフ大会(各議員)
 - 19日 広報委員会第2回(全委員)
 - 24日 中学生議会(全議員)
川辺川ダム対策調査特別委員会(全委員)
 - 25日 例月監査(田山監査委員)
 - 26~27日 人吉球磨広域行政組合議会視察研修(田山議員)
 - 27日 定例郡議長会議(岡本議長)



印刷会社とやまめの編集を行う広報委員(中村委員は欠席)
左より田山広報委員長、協和印刷、川邊委員、園田委員



つぶやき

暑い暑い異常気象だった今年の夏もやっと終わり、涼しい(寒いかも)季節がやってきました。皆さんお元気でしょうか。来年はどんな年になるのでしょうかね、今から気になるところです。広報紙(議会だより)も発行150回を迎えました。今回はいろんな方々の協力のもと発行することが出来ました。この場をお借りしまして感謝を申し上げます。村民の皆さんに少しでも喜んでもらえればうれしく思います。創刊号は昭和62年で37年目を迎えました。その頃発行されたものを見てみると当時の広報委員の皆さんのいろんなご苦労が、見えてきます。今では広報委員会も毎年専門家の先生から指導を受けて研修を重ねてきました、まだまだですが何とか頑張っています。近年日本も含めて世界中でいろんな事件や災害、騒動が頻発しています。もうすぐ今年も終わりますが、来年こそいい年になりますよう祈念しまして結びといたします。今後も議会だよりをごひいきによりしくお願ひ申し上げます。

田山 淳士

五木村議会広報委員会
委員長 田山 淳士
副委員長 園田 良治
委員 中村 俊也
委員 川邊 正美

次回の定例会は12月上旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏